



民間社会福祉施設職員退職手当共済事業 運営委員会レポート

2019年12月26日
第15号

“[発行] 高知県社会福祉協議会 民間社会福祉施設職員退職手当共済事業運営委員会”

“[WEBサイト] <http://www.kochiken-shakyo.or.jp/document/?group=grp121>”

令和元年度第2回運営委員会を開催しました

日時：令和元年12月19日(木)14:30～16:35

場所：高知県立ふくし交流プラザ 2階 高齢者能力開発室

出席委員(13名)

藤田卓也(委員長) 伊野部武男(副委員長) 田ノ内学 田村桂造 濱田 明 真鍋朋三
田村輝雄 小玉智代 中山 伸 酒井茂里 植村芳明 植田 淳 福島寛隆

担当理事 楠目 隆

下記の事項に関する審議等が行われました。

- ミニ勉強会「共済制度の概要と資産運用の基礎知識」
 - 事務局説明『本県の共済制度の概要』
 - 講義『資産運用の基礎知識』
- 審議事項
 - ヘッジ付外債導入検討の件について
- 令和元年度上半期資産運用実績報告
 - 三菱UFJ信託銀行(資産70%運用)の報告
 - 三井住友信託銀行(資産30%運用)の報告
 - 植田委員(神戸市外国語大学教授)の講評
- その他
 - 令和元年度一般社団法人全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会全国会議について(報告)

1 ミニ勉強会「共済制度の概要と資産運用の基礎知識」

今年度は運営委員定数15名のうち4名が交替していることから、今後、制度運営に関する事項を適正に審議いただくため、共済制度や資産運用の基礎知識について学ぶミニ勉強会を行いました。

- 事務局説明「本県の共済制度の概要」
- 講義「資産運用の基礎知識」 講師：神戸市外国語大学 教授 植田 淳 氏

2 審議事項

(1)ヘッジ付外債導入検討の件について

本共済制度で保有している資産のうち国内債券の収益率が低いことから、「国内債券の代替としてヘッジ付外国債券を導入してはどうか」と三菱UFJ信託銀行から提案を受けており、8月30日に資産運用小委員会を開催し、検討を行いました。

小委員会での協議内容について次のとおり報告し、結論について承認されました。

【主な意見】

- 投資対象の中にリスクの高い債権が含まれているのは不安。
- 現在の相場が不安定な状況のなかでも要支給額に対する充足率は満たしているため、当面は耐えるときではないか。

【結論】

現在は相場が不安定であるため、当面様子見をし、相場が落ち着いた段階で改めて検討する。

3 令和元年度上半期資産運用実績報告

9月末の収益率は三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行ともにベンチマークを下回る結果となりました。

「2行の株式相場に対する見方に違いがあり、上半期の実績でかなり差が出ている。ただ、2行ともにベンチマークを下回っているため、今後、ぜひ結果が出るように頑張っていただきたい。」と植田委員から講評がありました。

時間加重収益率(4月～9月)：三菱UFJ信託銀行 1.04%、三井住友信託銀行 1.42%

※ベンチマーク(4月～9月)：1.62%

4 その他

(1)令和元年度一般社団法人全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会全国会議について(報告)

田ノ内委員、事務局岡本から、令和元年11月7日(木)、8日(金)に開催された全国会議に出席した旨と会議の内容について報告しました。

運営委員会レポート 第15号 令和元年12月26日発行
社会福祉法人高知県社会福祉協議会 民間社会福祉施設職員退職手当共済事業運営委員会事務局
〒780-8567 高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ4F
総務企画課内 TEL: 088-844-4865 FAX: 088-844-3852